

平成14年度図書館活動報告

1 図書委員会

第1回：平成14年4月17日(水)

- 平成13年度図書費決算報告について、平成14年度図書費予算編成について、図書館管理規程の一部改正について、図書館自己点検・評価委員会委員の構成について、平成14年度私立大学等研究設備整備費等補助金対象図書について、平成13年度購入基本図書について、ほか

第2回：平成14年5月15日(水)

- 平成14年度図書館運営について、図書費予算について、平成13年度自己点検・評価委員会の報告について、ほか

第3回：平成14年6月19日(水)

- 平成14年度基本図書（前期分）の選定について、「図書館ビジョン7項目」の推進状況について、ほか

第4回：平成14年9月18日(水)

- 平成15年度図書費予算の申請について、平成15年度図書館運営に係る予算申請について、オンラインサービスの一部開始について、書庫研究個室でのネットワーク接続について、SciFinder Scholarの導入について、経済・政治研究所からの資料の移管について、「学部教育リフレッシュ予算」の申請予定について、ほか

第5回：平成14年10月16日(水)

- 平成14年度基本図書（後期分）の選定について、「体験実習型ガイダンス」実施の案内について、関西大学図書館セミナー開催について、書庫狭隘の解消について（懇談）ほか

第6回：平成14年11月20日(水)

- 図書館利用規程の一部改正について、書庫狭隘化解消について、ほか

第7回：平成14年12月18日(水)

- 書庫狭隘化解消策の策定について、平成15年度図書館の開館予定について、規程の一部改正について（図書管理規程・図書館利用規程・図書館自己点検・評価委員会規程）ほか

第8回：平成15年2月19日(水)

- 書庫及び図書館機能の拡充について、「関西大学図書館自己点検・評価委員会規程」の一部改正について、平成15年度前期基本図書（私立大学等研究設備整備費等補助金対象）選定について

第9回：平成15年3月19日(水)

- 書庫及び図書館機能の拡充について、平成15年度図書館利用案内年間実施計画について、図書費再配分案について、図書館公開について、ほか

2 図書館自己点検・評価委員会

図書館は、「関西大学図書館がめざす方向 ビジョン7項目」を一步一步推進し、利用者サービスの環境を大きく変化させつつある。平成14年度は、オープンシステムの稼働に伴い、電子カウンター機能の拡充及び収集・整理業務の効率化を図った。

本委員会はこれらの環境変化に伴う利用者の動向を把握し教育研究の支援活動につなげる報告書を作成する任務を負っている。しかし、報告書については、図書委員の任期の変更（1年から2年へ）及び大学の自己点検・評価との有機的連携を図る必要から平成15年度末に作成することとし、平成14年度は、毎年度累積している基礎データを「自己点検・評価関係資料」にとりまとめた。

資料については、平成15年度の図書委員会に報告するとともに、同報告書を本誌に掲載した。

3 図書館課長会議

図書館長、図書館次長、運営課長、閲覧参考課長及び学術資料課長で構成する会議。図書館運営の各種施策について審議・協議した。平成14年度は17回開催。同課長会議のもとに設置する「図書館ビジョン推進会議」は休止したが、常設の委員会の他に部門目標達成に向けて複数のプロジェクト（検討チーム）を設置した。目標管理は図書館課長懇談会（次長・各課長で構成）が行った。

4 関西四大学図書館館長会議

平成15年3月12日(水) 於：立命館大学

- 出席者：関西学院大、関西大、同志社大、立命館大の各館長と事務管理職者及び幹事
- 報告事項（2002年度関西四大学図書館連絡会・相互利用担当者会・図書館職員研修会）協議事項（関西四大学図書館長会議規約の改正）ほか

5 図書館ビジョンの推進関係

平成10年12月に図書館が定めた「関西大学図書館がめ

ざす方向 ビジョン7項目」も4年目を迎えた。その間、図書館ホームページの改訂、総合図書館の閲覧サービス業務へのアウトソーシング導入、開館時間の延長・日数の増加等を推進してきた。今年度は、「オープンシステム(業者のパッケージシステム)の稼動」により、収集・整理業務の委託範囲を拡大して業務の効率化を図ると共に、利用状況の照会、予約取寄せ・購入希望の申込み等のオンラインサービスを開始して電子カウンター機能を拡充した。

また、「メディアの多様化に対応しうる図書館」の標榜の一環として、SciFinder Scholarの導入、Web of Scienceの検索対象となる雑誌論文の収録期間を1982年からに拡充すると同時にISI Proceedingsをも導入する等、外部データベースの利用環境を拡充した。

6 セミナー・講習会の開催

(1) 関西大学図書館セミナー

米国の学術図書館における米英政府刊行物の利用実態

本学図書館においても網羅的に収集している米国・英国の議会資料及び政府刊行物についての基礎知識と米国学術図書館における利用実態をとおして、図書館員のレファレンスサービスのあり方を考察するセミナーを開催した。

日時：平成14年11月15日(金)

場所：総合図書館 図書館ホール

講演：Ms. Diane Harvey Smith(元 Pennsylvania State University 図書館勤務)

スライドプレゼンテーション(米国・英国における議会資料及び政府刊行物についての基礎知識/研究テーマと利用実態/図書館員のレファレンスサービス/インターネットと資料保存)

インターネットデータベースデモンストラーション

参加者数：大学38名 企業等7名

(2) 目録システム地域講習会 図書コース

目録業務の高度な知識と技術の修得を目的として、昨年度に続いて、国立情報学研究所からの依頼に基づき、私立大学図書館協会との共催により実施した。

期間：平成14年9月18日(水)～9月20日(金)

場所：千里山キャンパス

情報処理センターサテライトステーション2

内容：目録システム概論 目録情報の基準

検索総論・検索技法・検索実習 登録

総論・登録実習・自由演習

講師：河原田 伊左男(関西大学図書館学術資料課)

他大学からの派遣講師 5名

実習補助：田中 恵美(関西大学図書館学術資料課)

鶴飼 香織(")

受講者数：学内3名 学外22名

7 「インターンシップ学生」の受入れ

関西大学のインターンシップ制度導入目的を理解して、4名の学生を受け入れた(実習期間・内容等は図書館分のみを記す)。

実習期間：平成14年9月6日(水)～9月19日(木)

9:30～16:30(土・日祝日を除く10日間)

実習場所：関西大学図書館(運営課・閲覧参考課・学術資料課)

実習内容：1日目はレクチャー(大学の使命と大学図書館の役割、図書館ビジョンとその取り組み)他

2日目～4日目は収集整理部門で実習(OJT)

5日目～7日目は閲覧サービス部門で実習(OJT)

8日目は希望業務の補習とまとめ(講評等)

8 展示会

於：総合図書館展示室

(1) 春季特別展(4月1日～5月19日)

文字遺産集成 文字の出現から書物へ

(2) 秋季特別展(11月7日～12月15日)

英国近代女性作家展 ブルーストッキングから

オースティン、ブロンテの時代へ

記念講演会(11月29日、於：総合図書館図書館ホール)

演題：「イギリス・フェミニズムの胎動

英国近代女性作家展に寄せて」

講師：坂本武 関西大学文学部教授

9 文部科学省 私立大学等研究設備整備費等補助

図書委員会で選定し大学より申請した結果、図書館関係については次の2点の補助金を得た。

(1) 特別設備

• US Congressional Committee Hearings, Published and Unpublished (米国議会委員会公刊・未刊公聴会議事録集成)

Published Hearings, 23rd-73rd Congress (1833-1934)

Unpublished Hearings, 18th-90th Congress (1823-1968)

冊子体 Index & Microfiche版 原報

(2) 特定図書

- *The Eighteenth Century*. 18世紀英語出版物コレクション

Unit 330-337. 280reels

Unit 338-346. 280reels Microfilm

10 日本私立学校振興・共済事業団 私立大学等経
常費補助

図書館関係について大学より申請した結果、次の各テ
ーマにより補助金を得た。

(1) 特別補助(教育・学術情報ネットワーク)

- O P A C ・データベースの拡充

(2) 特別補助(高等教育研究改革推進)

- 貴重な文化財産の収集と保存並びにデジタルアーカイブの構築による情報発信

(3) 特別補助(教育・学習方法等改善)

- 図書館における利用サービスの拡大と新たなアクセス環境の整備
- インターネット上の外部データベース利用による先進的な教育・学習支援

11 図書館の刊行物等

- (1) 『図書館利用案内』2003年度版を編集発行
- (2) 『文献のさがし方から入手まで』の改訂増版発行
- (3) 本誌第7号を図書館ホームページに全文掲載